



革新的な災害情報システムの構築

～みんなで考える気象水文情報の未来～

創造工学部
創造工学科

環境デザイン工学領域

准教授 竹之内 健介

研究シーズの概要

現在、日本では、気候変動による風水害の激甚化の危険性に加え、少子高齢化による地域防災の衰退が危惧されています。そのような中で、これまで事前対策の柱の一つとして、気象水文情報の高度化が進められてきました。しかし、高度化された情報が、実際の災害時に社会において十分に活用されているとは言い難い状況も見られます。将来の社会状況を見据え、気象水文情報を地域や企業の社会システムとしてどのように位置づけ、災害対応に結びつけていくか、そのための技術開発や調査研究は重要な課題と言えます。そのためには、災害情報や災害対応の表面的な課題を追求するだけでなく、社会の特性や生活や事業に寄りそったアプローチは必要不可欠です。関係する研究分野とも連携しながら、「災害リスクコミュニケーションを軸とした革新的な災害情報システムの構築」を研究テーマとして、地域防災や防災教育を主としたフィールドにおける実践に基づく研究に取り組んでいます。

最近の主な研究テーマ

- ① 防災スイッチの社会実装技術の開発
- ② 生活防災や防災教育の長期検証に関する研究
- ③ 災害の素振り・振り返りプラットフォーム
「雨トレ」の開発
- ④ 気象現象に対する人の感覚特性の分析
- ⑤ 地域観測システムIoT-COSの社会実装 など



【利用が見込まれる分野】 行政、コンサルタント、リスク評価、民間気象、学校防災関連事業、情報通信（IoT）など

研究者プロフィール

竹之内 健介



／ タケノウチ ケンスケ

メールアドレス

takenouchi.kensuke@kagawa-u.ac.jp

所属学部等

創造工学部 創造工学科

所属専攻等

環境デザイン工学領域（防災・危機管理コース）

兼 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

職

位

准教授

学

位

博士（情報学）

研究キーワード

災害情報、リスクコミュニケーション、地方防災、防災教育

本研究に関するお問い合わせは、香川大学産学連携・知的財産センターまで

直通電話番号：087-832-1672

メールアドレス：ccip-c@kagawa-u.ac.jp

問い合わせ番号：EN-22-013